

2022年5月13日

各位

会社名 株式会社グローバルウェイ
 代表者名 代表取締役社長 小山 義一
 (コード番号: 3936)
 問合わせ先 取締役コーポレートサービス本部長 赤堀 政彦
 TEL. 03-5441-7193

通期連結業績予想値及び個別業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年11月10日に公表いたしました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期連結業績予想及び2021年5月11日に公表いたしました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の個別業績予想につきまして本日発表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値と実績値の差異

2022年3月期 通期連結業績予想との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,750	百万円 100	百万円 400	百万円 302	円 銭 8.30
実績値（B）	1,816	136	446	419	11.78
増減額（B-A）	66	36	46	117	—
増減率（%）	3.8%	36.0%	11.5%	38.7%	—
（参考）前期連結実績 （2021年3月期）	1,219	△362	△339	△187	△5.36

（注）当社は、2021年9月17日付で普通株式1株につき5株、2021年11月4日付で1株につき3株、2021年12月4日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前回発表予想及び前期連結実績の「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 差異の理由

理由としましては、プラットフォーム事業、セールスフォース事業においてDX領域への注力したことや、外資系のコンサルティングファーム及びIT業界を中心とした主にハイクラス人材をターゲットとした転職サービスであるリクルーティング事業の案件数が上昇し、売上高は1,816百万円と業績予想を上回る着地となりました。また、広告投資や営業体制の見直しなど生産性向上に全社一丸で取組み、営業利益も業績予想を超え136百万円となり、暗号資産売却益357百万円や投資有価証券売却益70百万円なども計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は419百万円となりました。

3. 個別業績予想値と実績値の差異

2022年3月期 通期個別業績予想との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,350	百万円 100	百万円 90	百万円 80	円 銭 2.28
実績値（B）	1,743	262	271	341	9.60

増減額 (B - A)	393	162	181	261	—
増減率 (%)	29.1%	162.0%	201.1%	326.3%	—
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	1,148	△28	△19	29	0.83

(注) 当社は、2021年9月17日付で普通株式1株につき5株、2021年11月4日付で1株につき3株、2021年12月4日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前回発表予想及び前期実績の「1株当たり当期純利益」を算定しております。

4. 差異の理由

理由としましては、プラットフォーム事業、セールスフォース事業においてDX領域への注力したことや、外資系のコンサルティングファーム及びIT業界を中心とした主にハイクラス人材をターゲットとした転職サービスであるリクルーティング事業の案件数が上昇し、売上高は1,743百万円と業績予想を上回る着地となりました。また、広告投資や営業体制の見直しなど生産性向上に全社一丸で取組み、営業利益も業績予想を超え262百万円となり、投資有価証券売却益70百万円なども計上した結果、当期純利益は341百万円となりました。

以上